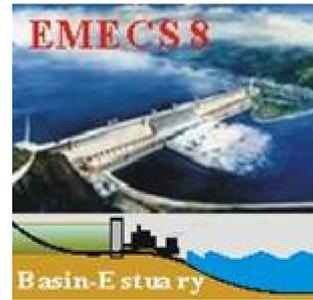


International EMECS Center



第8回世界閉鎖性海域環境保全会議 (EMECS 8)

第1回サーキュラー (論文要旨募集) 概要

会議テーマ 河川集水域と河口域の調和 (Harmonizing River Catchment and Estuary)

テーマ :

開催日 2008年10月27日~30日 (予定)

日程 :

開催場 中国・上海市

所 : 上海光大会展中心国際大酒店 (上海エバーブライト・コンベンション&エキシビジョンセンター国際ホテル <http://www.ebhotel.com>)

開催趣 世界各地には閉鎖性海域が存在し、塩水と淡水との微妙な交換が行われている。北海、地中海、

旨 : バルト海、チェサピーク湾、タイ湾、渤海、瀬戸内海などがその例である。

閉鎖性海域は、古来その風景の美しさと豊かな漁業資源を有していたが、汚染物質が溜まりやすい特性のため、その水質を保全・改善することが困難である。このため、保全・創造に関する世界の情報を交換しようと、世界閉鎖性海域環境保全会議 (EMECS 会議) が 1990 年に日本国・神戸で開催された。その後、世界各地で 2~3 年毎に開催され、EMECS 会議は、科学者、政策立案者、産業界、市民等が集う国際会議として認知されるようになった。

第8回世界閉鎖性海域環境保全会議 (EMECS 8) は、アジア経済の急成長が河川集水域と河口域との関係を変化させていることを鑑み、「河川集水域と河口域との調和」というテーマで開催する。そして、自然科学者、社会科学者、行政官、市民、学生を含む全ての参加者で意見交換を行い、いかにして環境リスクを最小限にするかの検討を行う。

主要トピック ① 地球温暖化の下での環境脆弱性

② 河口域の脆弱性と環境政策、沿岸域の都市化—都市河川の変化と回復

③ 有害物質評価—10年・100年スケール、統合的な河川の管理

② 集水域と沿岸域の統合管理

水質管理、総量規制、湖沼の環境と対策、統合沿岸管理と将来展望

③ 地形変化：集水域から沿岸海域へ

大河川の河口海域への流入、水文学・地球化学・生物学的プロセス、アジアのメガデルター堆積物の移動、河川のパターンと集水域の反応

④ 新しいアプローチ

リモートセンシングと GIS の応用、モニタリングとモデリング、学際的な手法・プロセス

⑤ 社会的責任と意識向上

教育と市民参画、学生の参加

主催： 華東師範大学、中国環境科学研究所、国際エメックスセンター

後援：

中国国家自然科学基金委員会、上海科学技術委員会、国家環境保護総局、国家海洋局、長江水利委員会、中国科学院

協力： アモイ大学、中国海洋大学、南開大学、中国気象局国立気候センター、上海市環境局、上海市海洋局、WWF 上海 他

会議運営 ○ 会長等

名誉会長： 陳宜瑜・中国国家自然科学基金委員会主任（総裁）

会長： 俞立中・華東師範大学学長

副会長： 孟 偉・中国環境科学研究所院長

副会長： 茅陽一・国際エメックスセンター会長／地球環境産業技術研究機構副理事長

○ アドバイザリー委員会

熊本信夫・国際エメックスセンター・科学政策委員会委員長／北海学園大学教授、その他中国科学院等の院士（9名）

○ 国際組織委員会

委員長： ウェインベル・ワシントンカレッジ環境社会センター上席講師 [米国]

委員： 15名（PEMSEA、UNEP-MAP, OECD, World Bank 等の者を含む）

○ ローカル組織委員会

委員長： 王小明・華東師範大学副学長

副委員長： 王業耀・中国環境科学院副院長

委員： 13名

○ プログラム委員会

委員長： 渡辺正孝・慶応大学教授

委員： 李行偉・香港大学副学長、李熙一・韓国環境研究院主席研究院、柳哲雄・九州大学教授、エルダール・オーザン・MEDCOAST 会長、呉婕贇・中国環境科学院プロジェクトマネジャー、徐開欽・国立環境研究所主任研究員、陳中原・華東師範大学教授

○ 現地事務局

事務局長： 陳中原・華東師範大学教授

日	年月日	内 容
程 :	2008/10/27	開会式、基調講演、全体セッション、歓迎レセプション
	10/28	口頭発表、ポスターセッション、特別セッション
	10/29	同上
	10/30	閉会セッション (EMECS 宣言、表彰、閉会式)、さよならパーティ

出版 : 会議終了後、プロシーディングスを出版する。その他学会誌での特集号を企画する。

フィールドトリップ :

三峡ダム、崇明島等への旅行を企画中。(日本からの参加者向けに、国内旅行社と提携し、EMECS8 への参加と合わせた安価なツアーを提供する予定。)

言語 : 英語 (部分的に、中国語、日本語の同時通訳を予定)

参加料 : 参加 早期登録 (2008 年 3 月 15 日まで) 250 米ドル/人
通常登録 (2008 年 3 月 16 日以降) 300 米ドル/人
学生 50 米ドル/人

口頭発表及びポスター発表の募集 :

閉鎖性海域及び陸域との調和に関する研究成果や活動内容、政策についての発表を受け付けます。発表内容のアブストラクトの提出期限は、来年 3 月 15 日です。アブストラクトの様式や参加登録方法等につきましては、EMECS8 会議事務局または国際エメックスセンターのホームページでご覧下さい。

URL <http://www.emecs-8.ecnu.edu.cn/> <http://www.emecs.or.jp/>

今後の 2007 年 12 月 15 日 第 2 回サーキュラー

予定 : 2008 年 3 月 15 日 アブストラクト提出期限

2008 年 8 月 31 日 第 3 回サーキュラー

※ EMECS8 プレ会議として、「黄海・東シナ海の流域～沿岸域の統合管理の構築に向けて」というテーマで国際ワークショップを 2007 年 11 月 23 日に中国・天津市において開催しますので、是非ご参加下さい。

(使用言語 : 英語。参加費 : 無料。詳細は国際エメックスセンターへご照会下さい。)